

講義名	社会統計学 /社会統計学					授業形態	
担当教員	佐藤 彰宣	開講期・曜日・時限		後期 火曜日 4 時限			
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	SOC284

主題と概要
調査データの整理や分析など、社会調査において必要な基礎的な統計的知識について学習する。統計的方法は様々な分野で利用されているが、正しく適用するためには、その基本的な考え方の理解が重要である。身近なデータによる統計分析を通して、統計的知識をどのように利用するのか、調査から得られたデータをどのように集計し分析すればよいかを学び、統計学を適切に利用して自分の研究に役立てる力を身につける。

到達目標
・統計的方法は様々な分野で利用されているが、正しく適用するために、その基本的な考え方を理解できる。 ・身近なデータによる統計分析を通して、統計的知識をどのように利用するのか、調査から得られたデータをどのように集計し分析すればよいかを学び、統計学を適切に利用して自分の研究に役立てる力を身につけることができる。

提出課題
授業内で 平常点課題 期末レポートを課す。 平常点課題については、毎回の授業内で課し、Campus-Xsでの提出をもって出席とする。なお授業日数の3分の1を超えて欠席した場合は、成績対象外とする。 いずれの課題においても謝辞（出典を表記しないネット記事の書き出し・コピー）は不正行為とみなす。他の人の課題を写す/写させる行為も不正行為である。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
演習課題については、課題の提出後、次の授業内で解等の解説を行う。 ミニレポートについては、次の授業時に興味深いコメントを取り上げ講評を行う。

評価の基準
平常点課題（演習課題・ミニレポートの提出）60%、期末レポート40%

履修にあたっての注意・助言他
授業内容をより深く理解し定着させるために、レジュメ・教科書を活用した予復習を積極的に行ってほしい。

教科書				
・社会調査のための統計学－生きた事例で理解する－	神林博史、三輪哲	技術評論社		9784774146805

参考図書				

その他
適宜レジュメを配布する。上記以外の参考文献は自らのなかで別途案内する。

授業計画
1 社会統計学とは 予習内容：シラバスや教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：授業概要について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 2 度数分布表 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：度数分布表について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 3 度数分布図 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：度数分布図について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 4 基礎統計量（代表値） 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：代表値について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 5 相関係数 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：相関係数について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 6 クロス表 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：クロス表について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 7 相関係数 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：相関係数について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 8 変数の統制 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：変数の統制について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 9 確率と確率分布 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：確立について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 10 前出法の理論 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：抽出法について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 11 検定：カイニ乗検定 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：カイニ乗検定について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 12 検定：t検定 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：t検定について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 13 検定：相関係数の検定 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：相関係数の検定について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 14 クロス表の検定 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：クロス表の検定について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 15 まとめ 予習内容：前回授業資料や教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：授業全体の総括として授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
☐	ア：PBL（課題解決型学習）	☐	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐	ウ：ディスカッション、ディベート	☐	エ：グループワーク
☐	オ：プレゼンテーション	☐	カ：実習、フィールドワーク
☐	キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
統計的知識および分析手法の習得を目指す本科目は、卒業認定・学位授与の方針として示されている「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のなかでも、特に「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」などを養うことにつながる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
レポート課題の提出などは、Campus-Xsを通して行う。 本科目は受講生との対話を重視し、各回の内容について議論しながら理解を深めていく。

実務経験の有無及び活用

備考